

リテール・プリンティング事業を支えるモノ創り革新

Product Development Innovations as Driving Force for Retail and Printing Businesses

巻頭言

顧客視点に立つ モノ創り革新の進化

Advancing *Monozukuri* Innovation from Customers' Standpoint



江口 健
EGUCHI Takeshi

東芝テック(株)は、中・長期ビジョンとして店舗・オフィスを起点に顧客現場の課題を解決するソリューションパートナーを目指し、ソリューション事業の拡大、コアビジネスの業容拡大、及び原価低減加速・生産性向上による安定収益体制の構築を進めています。これらを実現するための戦略の一つとして、“価値創造”と“生産性向上”の二つを大きな柱とした技術開発基本方針を定めています。

価値創造の取り組みとしては、新規事業領域や、融合商品、差異化商品の開発を加速するのに加え、世の中の将来動向を予測し、既存の商品を進化させるのはもちろんのこと、新しい商品、サービス、ソリューションを創出し、顧客視点の価値を創造します。

また、生産性向上の取り組みとしては、開発プロセス改革を推進し、研究開発投資の効率最大化を図っています。効率化によって得られた新たな原資や能力により、価値創造と生産性向上の取り組みを更に進化させます。

当社は、開発プロセス改革として、後戻りのない“V字型開発プロセス”の実現を推進しています。これを実現するためのアクションには、製品の一括企画とプラットフォーム化推進や、1DCAE(製品に求められる価値や機能を起点にした設計の概念及びそれを支援する手法、ツール)の活用推進、FMEA(Failure Mode and Effects Analysis:故障モード影響解析)を活用したリスク予測・回避、CAE(Computer Aided Engineering)を活用した製品設計の妥当性検証、試作機を用いない実機レス評価システムの構築、これらを実現するための製品開発支援システムの構築などがあります。そして、これらの活動全体を“モノ創り革新”と称し、全社横断で推進しています。この特集では、モノ創り革新について、それぞれのアクションの詳細と効果を紹介します。

東芝テックグループの経営理念である「私たちの約束」は、“モノ創りへのこだわりと挑戦 いつでもどこでもお客様とともに”です。この経営理念の下で、モノ創り革新を中・長期的に進化させ、活動の質を高めることで、商品、サービス、及びソリューションの価値を向上させるとともに幅も広げ、顧客や社会からの要求に、スピーディーかつタイムリーに応え続けていきます。

東芝テック(株) 執行役員
Toshiba Tec Corp.